



スマホ買いたい人講座

スマホは現代の生活に欠かせない道具となってきました。しかし、新しく出現したので、本当に購入する価値があるのか、いったいどう使えるのか不安だという思いを抱えている人も多いのではないのでしょうか？

また現在スマホを持っている人も、もっと安くなるようだが切り替えるのは不安だという人は多いと思います。これからスマホを買いたい人・安くしたい人のための講座です。



改版2019年3月

一般社団法人 セカンドライフファクトリー

中村 年雄

初めに（みなさんのデジタル環境？）

1. 現在使用しているものは何ですか？

- a) 携帯電話(ガラケー)
- b) スマホ
- c) 両方持っていない

2. 普段電子メールを使用していますか？

- a) 使用している
 - ・PC用メール
 - ・キャリアメール(ex. xxx@docomo.ne.jp、 xxx@i.softbank.jp、 xxx@ezweb.ne.jp)
 - ・ショートメール(SMS)
- b) 使用していない

3. パソコンを使用しているか？

- ・デスクトップPC
- ・ノートPC
- ・タブレット
- ・持っていない

4. 家のネットワーク環境

- ・インターネットは使用できるか？
- ・WiFiの環境があるか？

5. パソコン/スマホの使用目的は？

- ・メール
- ・検索(調べる)
- ・ネットショッピング
- ・その他

初めに（スマホに興味を持った理由？）

1. スマホを持つと思ったきっかけは？

- a) 周りにスマホを持っている人の影響。(便利そう、楽しそうなので持ちたい。)
- b) 写真を撮りたい。送りたい。
- c) 孫などとスマホを使って連絡をしたい。
- d) SNS仲間に入りたい。
- e) 今時持っていないと肩身が狭い
- f) スマホ決済に使用したい
- g) その他

2. スマホを持つのにネックは何ですか？（躊躇したのは何故ですか？）

- a) 入手するまでの手順が分からない。(近くに教えてくれる人がいない)
- b) 費用面
 - ・どのくらい費用がかかるか分からない。
 - ・持っている人の話を聞くと高い。
- c) スマホで何ができるのか？便利なのがあるのか？分からない。
- d) その他

スマホを持つための手順・方法 (No.1)

スマホを持つ(使えるようにする)ためには2つのことが必要です。

(1) スマホ端末を入手する。

(2) ネットワークを使用するためにモバイル通信会社(大手キャリア又はMVNO)と契約する。

MVNO: Mobile Virtual Network Operator (格安SIMを販売している)

(1) スマホ端末の入手方法

(a) 知り合いで余ったスマホを持っている人から入手する。

ex. お孫さんから使わなくなった端末をもらう。

(b) インターネットで買う

新品*1/中古*2 (SIMフリー端末、白ロム) 好きな機種が安く買える。

(c) お店で買う

最近は電気量販店でもSIMフリー端末が売られている。

(d) キャリア/MVNO社と一緒に購入する

一番多いのはキャリア(ドコモなど)で買う人。

最近はMVNOでもスマホ端末と一緒に売っています。(機種、性能にこだわらないのなら良いかも)

(自分で選ぶ必要が無くいろんな心配をしないでも良い。キャンペーンなどで安く入手できる場合がある。)

スマホを使うための手順・方法 (No.2)

(1-1) スマホ端末の入手方法 (注意事項)

注)*1:何故安いのか？

日本の通信会社がおかしいことを行っているからです。

自社に縛り付けるためにいろいろとキャンペーンをしています。最近では総務省の指導で少なくなった。

ex.機種変更0円など。→タダならもらっておこうと考えます。そして使わないから売りに出します。

このような機種が一杯市場に出ています。これは未使用の場合ですが、中古も一杯出しています。

新品は1万円～12万円といろいろあります。自分の使用方法にあった機種を選びます。

* 新品も通信3社の場合7万円～9万円と最新機種は高いです。これが機種にも依りますが半額以下で買えます。

注)+2:何を注意しなければならないか？

端末には”利用制限”と言うのが有ります。

・2年間の端末代支払いが完了していない端末

→元の持ち主が端末代の支払いを止めた場合、その端末は利用できなくなります。

・安心プラン(オプション)に入っている端末

→元の持ち主が端末を無くしたと届けた場合、その端末は使用できなくなります。

ではそのような端末でないことを確認するにはどうするか？例えば、ドコモの場合(他社も同様にチェックできます。)

”ネットワーク利用制限携帯電話機確認サイト”<http://nw-restriction.nttdocomo.co.jp/top.php>“があり、ここで買おうとしているスマホの製造番号を入力すると、そのスマホがどのような状態かを教えてくれる。

○:問題なし、△:利用制限になる可能性がある、x:利用制限中

スマホを使うための手順・方法 (No.3)

(1-2) スマホ端末の選び方

(a) 画面の大きさ

シニアは小さい字が見にくいので、5.2インチ以上がお勧めです。最近は6インチ以上も出ています。
余り大きいと普段の持ち運びに不便です。(ポケットに入らないなど)

(b) カメラの画素数

写真を楽しみたい人はカメラの画素数も重要です。(今のスマホはデジカメよりも高画質です。)

(c) 電池の容量

スマホの使用方法にもよりますが、一般的な使用方法では1回/2日位に充電が必要です。
最近は大容量電池のスマホが売られています。(長持ちするが重たくなる。) 3000mAhは欲しい。

(d) 処理性能(CPU,メモリー量)

スマホの価格に大きく影響します。
使い方次第ですが、最初はマニアックな使い方はしないと思いますので、まずは余り気にしないで良いと思います。
相当使い慣れ、遅すぎると感じた時点で高性能のスマホに変えればよいと思います。

(e) 液晶画面の画素数

実際に見て決めれば良いと思います。
低価格のスマホでも十分に、問題なく使用できると思います。

スマホを持つための手順・方法 (No.3-1)

(1-3) お勧めスマホ端末方法

売れ筋人気順

機種	価格	サイズ	電池	特徴
HUAWEI nova lite 3	28,000	6.21	3400mAh	指紋/顔認証
HUAWEI P20 lite	22,425	5.84	3000mAh	指紋/顔認証
ZenFone Max Pro(M1)	32,173	6.00	5000mAh	指紋/顔認証
ZenFone Live(L1)	16,291	5.50	3000mAh	顔認証
HUAWEI nova lite 2	16,965	5.65	3000mAh	指紋認証

注) 2019.2.28価格コムの値段

どんどん変わっているので買う時点で再調査が必要です。

参考：半年前の情報

お勧めスマホ端末方法

売れ筋人気順

機種	価格(円)	サイズ(インチ)	電池	特徴
HUAWEI P20 lite	31,200	5.84	3000mAh	デュアルカメラ
HUAWEI P10 lite	23,898	5.20	3000mAh	デュアルカメラ
HUAWEI nova lite 2	23,935	5.65	3000mAh	デュアルカメラ
ZenFone 4 Max Pro	21,000	5.50	5000mAh	ダブルSIM
AQUOS sense lite	30,094	5.00	2700mAh	IGZO液晶

注) 2018.6.18価格コムの値段

どんどん変わっているので買う時点で再調査が必要です。

スマホを使うための手順・方法 (No.4)

(2) 通信会社との契約

MVNO(格安SIM会社)は、大手キャリア(ドコモ、au、ソフトバンク)の回線を借りて商売をしています。従い、通信品質は全く問題ありません。しかし大手3社でも昼休みなど輻輳して速度が遅くなりますが、SIMフリーは更に遅い場合がありますので注意が必要です。

(a) 大手キャリアと契約

ドコモ、au、ソフトバンク

xxxショップに行って契約する。価格は高い！ 困ったときにお店に行って相談ができる。

(b) MVNOと契約

非常に多くの会社があります。**MVNOがどこの大手キャリアネットワークが使用できるのか注意が必要。**

楽天モバイル、IIJmio、Ymobile(ワイモバイル)、mineo(マイネオ)、UQ mobile など

<http://kakuyasu-sim.jp/list>

参考) 格安SIMについて良く分かります。(利点、価格など)

<http://kakuyasu-sim.jp/>

<http://kakaku.com/keitai/smartphone/lowprice/>

<http://格安スマホおすすめ.com/>

スマホを使うための手順・方法 (No.5)

(2-1) MVNOを選択した場合の注意事項

MVNOは毎月の通信量は大手キャリアに比べて大幅に安くなりますが以下の注意が必要です。

(a) キャリアメール(大手キャリア固有のメールアドレス)が使えなくなる。

ex. xxx@docomo.ne.jp xxx@i.softbank.jp xxx@ezweb.ne.jp

(b) 電話(音声通話)を普段どのくらい利用しているか？

場合によってはトータル費用がMVNOの方が高くなることもある。

注)MVNOも最近は音声サービスを提供する各社が増えています。(10分かけ放題)

(c) 自分でなんでも行う必要がある。

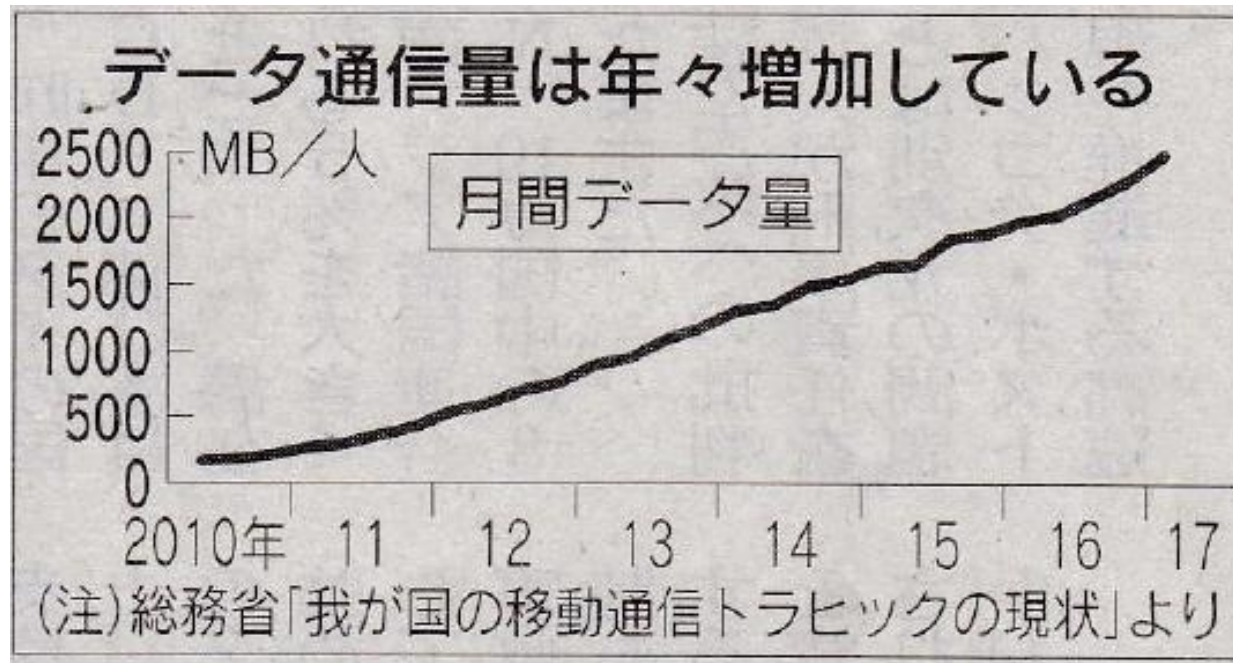
XXXショップに行けばなんでもやってくれ、自分でやることはほとんどない。

最近は家電量販店でMVNOを扱うようになってきましたので、便利です。→コジマ電気に楽天モバイルが入ってます。

大手キャリアなら何も考えずに契約しても、**高い月額料金がふりかかる**くらいで、それ以外は快適に使うことができます。お金さえ出していれば、何も考えなくても快適安心を保障しているのが大手キャリアです。

スマホを使うための手順・方法 (No.6)

(2-1-1) 通信量はどのくらい使用するか



表はスマホを使う人の全体の平均値です。

私の場合は、スマホを使う場所のほとんどが自宅とセカンドライフファクトリーの事務所でWiFi環境があります。

通信量は1G/月を超えたことは1回もありません。(多分0.5G/月を超えたこともないと思います。)

動画を見たり音楽を聴かなければ1Gも行かないと思います。

スマホを使うための手順・方法 (No.7)

(3) MVNO(格安SIM)でスマホを持つまでの流れ

①スマホ端末を購入する。(現在スマホを持っている場合又は端末も一括して申し込む場合は不要。)

②同じ電話番号を継続して使いたい場合

現在の通信会社から”**予約番号**“をもらう。(ショップに行くか、インターネット又は電話でもらう。)

MNP (Mobile Number Portability) と言ってどこのキャリアでも簡単にしてくれる。

手数料は2,000円です。

③MVNOにインターネットで申し込む。(ビッグカメラなどはお店に行けば申し込める。)

この時注意しなければならないことは、SIMカードにはサイズが数種類あります。

自分の端末にあったSIMサイズを指定しなければなりません。

注)最初に端末を入手した人は、その端末が利用できるネットワークを使用しているMVNOを選ばなければならない。(SIMフリー端末はどのMVNOでも良い。)

安心のために各MVNOのホームページでその端末が利用できるかを確認したほうが良い。

④ MVNOからSIMカードが送られてくる。

⑤それをスマホに差し込み、送られてきた資料に従い初期設定をする。

10分位で終わる簡単なものです。

料金は: 初期費用3,000円

スマホを使うための手順・方法 (No.8)

(4) SIMロックの解除方法と費用

原則2015年5月以降に発売された端末が対象

方法	費用	備考
Webサイト	無料	
電話	3,000円 (au,ソフトバンクはに対応)	
ショップ	3,000円	

料金比較概算 (No.1)

格安スマホの月額料金はキャリアと比べていくら安くなるの？

携帯大手キャリアの月額料金の半額以下でスマホが利用できます。

格安スマホと携帯大手キャリアは、データ通信量の月額料金に大きな開きがあります。また、携帯大手キャリアでは国内通話のかけ放題が月額料金に含まれるのに対して、多くの格安スマホでは「通話料はかけた分だけ課金」または「通話オプションを追加」などを自分の通話スタイルに合わせて選択できます。これらの料金の差から、格安スマホの端末料金を含んだ月額料金は、携帯大手キャリアの半額以下まで節約できます。

携帯大手3社 かけ放題プラン

月額**8,454**円/月 (通話料含む)

通話基本料+5分の通話かけ放題
1,836円

データ通信量 (5GB)
5,400円

インターネット接続料
324円

端末料金 (24回分割) ※1
894円

毎月
4,983円
節約

格安スマホ

月額**3,471**円/月 (通話料含まず)

通話料
• かけた分だけ課金 (21.6円/30秒)
• 通話オプションを追加
例) 5分の通話かけ放題 918円 ※2

インターネット接続料+データ通信量 (5GB)

約**2,232**円 ※3

端末料金 (24回分割) ※4
1,239円

※2018年4月25日時点の料金です。税込みの金額で算出しています。

※1 価格.comスマートフォンカテゴリ人気ランキング上位5製品のMNPの端末料金の実質負担金の平均価格

※2 価格.com格安SIMカードカテゴリ掲載の5分の通話かけ放題オプションの平均価格

※3 価格.com格安SIMカードカテゴリ掲載の5GBプランの通信プラン料金の平均価格

※4 価格.com格安スマホカテゴリ人気ランキング上位5製品の端末料金の平均価格

料金比較概算 (NO.2)

2017年8月20日 (日経新聞)

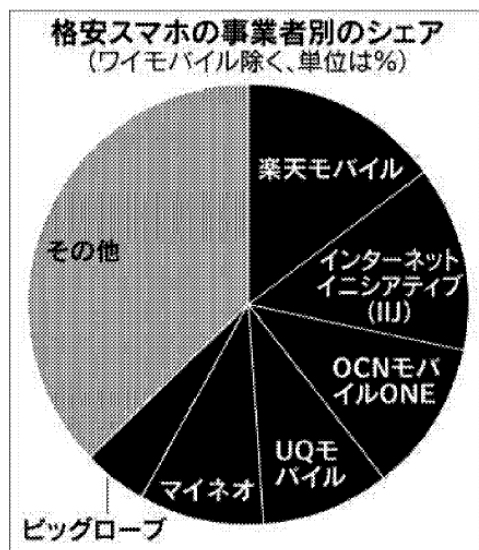
(1) MVNOの比率

- ・2014年4月 0.6%
- ・2017年3月 7.4%

(2) 大手キャリア3社とMVNOの料金比較(実績値)

MVNOの平均月額料金 2,957円

(大手キャリア3社より約5,000円安い)



2018年3月時点

料金比較概算 (No.3) 大手3社は儲けすぎ

電波利用料

毎年各社100億～200億を国に払う。

外国では電波はオークション方式が多く、例えば米携帯3位のTモバイルUSは80億ドル(約8,800億円)を払った。

国内企業の 営業利益ランキング

	社 名	営業利益 (兆円)
1	トヨタ自動車	2.39
2	NTT	1.64
3	ソフトバンク グループ	1.30
4	NTTドコモ	0.97
5	KDDI	0.96
6	ホンダ	0.83
7	ソニー	0.73
8	日立製作所	0.71
9	JR東海	0.66
10	日産自動車	0.57

(注)金融を除く東証1部上
場の2018年3月期連結

驚くほど儲けています。

大手キャリアの業績(2018年3月期)

[100万円]

[万人]

[円]

	売り上げ	営業利益	経常利益	当期利益	連結従業員数	営業利益/人	比較
ソフトバンク	9,158,765	1,303,801	384,630	1,038,977	6.8	19,061,418.1	13.7
NTTドコモ	4,769,409	973,264	1,096,625	744,542	2.8	35,391,418.2	25.5
KDDI	5,041,978	962,793	955,147	572,528	3.9	24,814,252.6	17.9
日立	9,368,614	714,630	638,646	362,988	30.4	2,351,530.1	1.7
ヤマトHD	1,538,813	35,685	36,085	18,231	16.1	221,508.4	0.2
パナソニック	7,982,164	380,539	378,590	236,040	27.4	1,388,321.8	1.0

料金比較（月額料金概算）

1. MVNOと契約するときの初期費用

(1)新規契約 (SIMカード料金) 約3,000円

(2)MNP（電話番号の移転） 約2,000円

2018年3月時点

MVNO	通信量			音声オプション
	0.5G	1G	3G	
楽天モバイル	-	-	¥1,600	10分以内かけ放題: 850円
インターネット イニシアティブ(IIJmio)	-	-	¥1,600	10分以内かけ放題: 830円
OCNモバイル	-	-	¥1,800	10分以内かけ放題: 850円
mineo	¥1,310	¥1,410	¥1,510	10分以内かけ放題: 850円
LINEモバイル	-	¥1,200	¥1,690	10分以内かけ放題: 880円

2017年9月時点

大手キャリア	通信量			音声オプション
	1G	2G	3G	
ドコモ		3,500+980 +300=4,780円		5分以内かけ放題: +720円
au	2,900+1,700 +300=4,900円		4,200+1,700 +300=6,200円	5分以内かけ放題含む
ソフトバンク			3,500+934 +300=4,734円	
ドコモ(ガラケイ)	980円+300円=1,280円			電話サービスのみ

料金比較（大手キャリア3社）

2019年1月時点

各社の月額料金モデルプラン

松

KDDIの安さが目立つ

大手3社

社名		NTTドコモ	KDDI (au)	ソフトバンク
モデルプラン	基本通話+2GB	5280円 (3GB)	3980円	5980円
料金	基本通話+5GB	6280円	5980円	7480円 (50GB)

竹

松を凌ぐ安さ

サブブランド

	ワイモバイル (ソフトバンク)	UQモバイル (KDDIグループ)
	2980円	3980円
	3980円 (6GB)	4980円 (6GB)

実はソフトバンクと同じ通信品質

各社の主要プランの詳細比較（月額）

松

大手3社

社名		NTTドコモ	KDDI (au)	ソフトバンク
プランの名称		「ベーシックパック」 「ウルトラデータパック」(注1)	「ヒタットプラン」 「フラットプラン」	「ウルトラギガモンスター+」 「ミニモンスター」

基本通話料金 (2年契約/ ネット接続料 300円を含む)	基本料金 (20円 / 30秒)	1280円	1280円	1500円
	5分以内の通話無料	2000円	1780円	2000円
	かけ放題	3000円	2780円	3000円

データ通信量	使った分だけ課金	～1GB	2900円	1700円	2480円
		～2GB		2700円	4480円
		～3GB	4000円	3700円	
		～5GB	5000円	4700円	5980円
		～6GB			
		～14GB			
	定額制	～20GB	7000円	5700円	6980円 (～50GB)
		20GB	6000円	4720円	
		25GB		5720円 (注2)	
		30GB	8000円	6720円	
		50GB			5980円 (注3)

ソフトバンクのみ
50GBの大容量

竹

サブブランド

	ワイモバイル	UQモバイル
	スマホプランS/M/L	プランS/M/L

	0円	0円
	0円 (注4)	0円
	1000円	なし

	2980円※	3980円※
	3980円※	4980円※
	5980円※	6980円※

「3GBで1980円」という
広告表示には注意！2年目以
降に料金が上がって使える
容量が減る！

割引	1年目割引		1年目 ▲1000円	1年目 ▲1000円	1年目 ▲1000円	1年目 ▲2000円 (2年目以降 ▲1000円)
	家族割	家族容量シェア (5GBで7000円～)		家族割 ▲500～▲2000円		2台目から ▲500円
	固定回線とのセット割引	▲100～▲1600円	▲500～▲1000円	▲1000円	▲500～▲1000円	なし
	端末代の補助金	あり (月々サポート)	なし (毎月割適用なし)	なし (月々割は廃止へ)	あり	あり

※定額制のプラン

〈注1〉端末代を補助しない「ドコモwith」の端末を購入すれば月1500円割引。

〈注2〉「Netflix」の視聴料が無料。

〈注3〉動画やSNS (YouTube, AbemaTV, Facebook, インスタグラム, LINEなど) の8サービスはノーカウント (無料)。

〈注4〉10分以内の通話が無料。

料金比較（格安SIM会社）

2019年1月時点

梅 月4000円前後の圧縮も可能！
格安SIM (MVNO主要11社)

KDDIグループ
格安スマホの先駆者

iPhone中古品やケーブルTVとのセット販売で存在感

社名	楽天モバイル	マイネオ	IIJmio	OCN モバイルONE	ビッグロブ モバイル	イオン モバイル	LINE モバイル	DMM モバイル	NifMo	nuro モバイル	JCOM モバイル
モデルプラン	1250円	1310円	1600円	1800円	1400円	1130円 (注5)	1200円	1140円	1600円	1000円	1600円
料金	3000円	3040円 (注6)	3050円 (注6)	3000円 (注6)	2980円 (注6)	2830円 (注6)	3100円	2760円	3130円 (注7)	3000円 (注8)	2950円 (注9)

間もなく携帯キャリアに参入。充実の品ぞろえ
唯一の電力会社系
NTTコミュニケーションズの運営で通信ノウハウが豊富
ソフトバンクのグループ

音声通話料金は30秒20円だが、専用アプリを使えばほとんどが半額の同10円に！

梅 格安SIM (MVNO主要11社)

出所：スマホ比較サイト「すまっぴー」

社名	楽天モバイル 10分かけ放題 (注5)	通常プラン	マイネオ	IIJmio	OCN モバイルONE	ビッグロブ モバイル	イオン モバイル	LINE モバイル	DMM モバイル	NifMo	nuro モバイル	JCOM モバイル
音声通話	5分以内かけ放題			600円 (注3)		630円 (注3)						850円
	10分以内かけ放題	0円	850円	830円	850円	830円	850円	880円	850円	830円	800円	
	その他かけ放題				850円 (注9)	通話パック (注10)	1500円 (注11)					
データ通信量	低速プラン	1250円			2500円		1130円 (注7)		1140円			
	1GB		1310円 (注7)			1400円	1280円	1200円			1000円 (注8)	
	2GB	2980円					1380円		1380円		1400円	
	3GB		1600円	1510円	1600円	1800円	1600円	1580円 (注9)	1690円	1500円	1600円	1600円
	5GB		2150円					2220円	1910円			2100円
	6GB	3980円		2190円	2220円	2150円	2150円	1980円				
	7GB							2880円	2560円	2300円	2200円	2600円
	8GB						2680円		2680円			
	10GB		2960円	3130円		3000円		3220円	2890円			3100円
	12GB				3260円		3400円	3280円		3500円 (注10)	3400円 (注10)	
	14GB	5980円							3980円 (注10)			
	20GB	6980円 (注8)	4750円	4590円		4850円	5200円	4680円	4680円			
最低利用期間	12~36ヵ月	12ヵ月	なし (注8)	12ヵ月	6ヵ月	12ヵ月	なし	12ヵ月	12ヵ月	6ヵ月	12ヵ月	12ヵ月
解約金	9800円	9800円		最大12000円	8000円	8000円		9800円	9000円	8000円	最大12000円	最大8400円

格安スマホも解約金には注意！
1年は使いたい！

- (注5) 楽天会員なら2年間、月1500円割引。
- (注6) 24GB。
- (注7) 500MB。
- (注8) 純粋な解約は無料だが、1年以内のMNP転出なら9500円。
- (注9) 3人までかけ放題。
- (注10) 最大60分で600円、最大90分で830円。
- (注11) IP電話かけ放題。

料金プランは三つの足し算で決まる

通信料金の計算方法

通信料金

=

音声通話料金を
選択

+

データ通信料を
選択

-

割引

通話は30秒で20円。基本料金を選ぶか、かけ放題を選ぶか？

5GB以下の利用がスマホ利用者の75%

家族割や固定回線とのセット割引、キャンペーンに注目

スマホでこんなことができる

スマホはパソコンと同じです。パソコンで出来ることは全部で来ます。
但し、キーボードが無いので長いメールやofficeなどを使うのは効率が悪いです。

- (1) パソコンで行っていること。(インターネットで検索、メール)
- (2) 電話
- (3) 予定表(通知してもらうなど)
- (4) ウォーキング(万歩計)
- (5) **写真**(どこで撮った写真をgoogle地図上に示してくれる。旅行の写真などを見るのに楽しく使える。)
- (6) ナビ(カーナビと同じ機能で音声で案内してくれる。)
- (7) ロgger(ウォーキング、サイクリングした時に使用する。終わった後でどれだけの距離を、どのルート通ったかを地図上に示してくれる。非常に楽しいものである。)
- (8) ニュース(時間を指定しておけば配信してくれる。)
- (9) マンガ(定期的に配信してくれる。)
- (10) ゲーム(いっぱいあり過ぎる。麻雀…)
- (11) 交通乗り換え(出かけた時に現時点の一番良いルートを教えてくれる。)
- (12) GPS(いろいろ使用出来る。例えば、海外旅行に行った時に現在位置が地図上で分かるので便利。
タクシーに乗ってわざと遠回りされることが多いが、すぐに指摘して修正することが出来る。又、いろいろ歩いてどこにいるか分からなくなっても、これを見れば迷子にならない。)
- (13) テザリング(無線ルータとして使用できる。外出した時にスマホを経由してノートpcからインターネットに接続することが出来る。)
- (14) **スマホ決済**

注) 上記は全部無料で出来、一切の費用はかからない。他にも無料ソフトは何万とあります。

主な用語の説明

- ・格安SIM: 物理的には、クレジットカードの金メッキの部分を取り出したような長方形のICカード(SIMカード/シムカード)を意味します。大きさは1円玉よりも小さいくらい。契約した格安SIMをスマホに入れることで、ネットや電話、アプリが普通に使えるようになります。
- ・格安スマホ: 主に格安SIMで使うためのSIMフリーのスマートフォンを格安スマホと言います。格安SIMとSIMフリーのスマホをセットにした料金プランを格安スマホという場合もあります。
- ・SIMフリーのスマートフォン: 他社のSIMカードでも使えるのがSIMフリーのスマートフォンです。SIMロックフリーやSIMフリーと短縮する場合があります。格安スマホもSIMフリーのスマートフォンです。格安SIMをSIMフリーのスマートフォンに入れて使います。
- ・MVNO: 格安SIMのサービスを提供している会社です。格安SIMや格安SIMで使える格安スマホを販売しています。楽天モバイルやUQ mobile、mineo等をMVNOと呼びます。読みにくいですが、エムバイエヌオー、と読みます。MVNOが格安SIMのサービスを提供します。
- ・白ロム: ドコモやau、ソフトバンク等で販売したスマートフォン、またはタブレットのことを白ロムと呼びます。ほとんどの場合で今使っているスマホで格安SIMを使うことができますが、その端末のネットワーク(例:ドコモ端末ならばドコモのネットワーク)を扱っているMVNOを選ぶ必要があります。

全部をまとめて説明すると、MVNOで購入した格安SIMをSIMフリーのスマホまたは白ロムに入れて使います。これで、大手キャリアの高い月額料金を払わずに、スマホでネットや電話、アプリを安く使うことができます。

おまけ：フィンテックについて

・フィンテック(FinTech)は金融(Finance)と技術(Technology)を結合した言葉。
世界の金融機関の利益(税引き後)が2014年に1兆ドルを超えた。(マッキンゼー & カンパニーの調査結果)この利益に群がる破壊者たちがフィンテック企業である。=既存の金融機関の破壊者

新しくて便利なサービスが次々と誕生している。

アメリカでは次のような会社がどんどん起業されている。一例を示す。2015年末時点でアメリカだけで1,300社以上のフィンテック企業が存在する。日本は遅れに遅れている。

◇ペイパル(PayPal): 簡単な決済手段を提供し、さらに個人間でお金を送るサービス

◇ミント(Mint.com): 銀行口座や証券口座、クレジットカードの利用情報などを一元化し、個人の資産管理や資産運用をサポートするパーソナル・フィナンシャル・マネージメント(PFM)サービス

◇スクエア(Square): スマートフォンの「ドングル」と呼ばれる機器を取り付けることで、それまでクレジットカードが利用できなかったお店などでクレジットカード決済を可能にするサービス

◇レンディングクラブ(LendingClub): 個人間でお金の貸し借りを仲介するサービス(プラットフォームを提供)

◇シンプル(Simple): 店舗を持たずにスマートフォン上で銀行と同じサービスを提供する

既存の金融機関の存続を脅かす可能性を持っている。ATMもなくなります。

利用者のニーズに応える優れたサービスを速いスピードで提供し、利用者の不満に素早く対応している。銀行は新しいサービスの提供や現在提供しているサービスの改善などに大規模システムの変更などが必要でなかなか行われたい又は非常に時間がかかり、利用者の不満を解消していない。

大きな特徴は、①スマートフォン②既存の金融機関のサービスに比べて非常に低価格の2つである。



(スマートフォンを持っていない人はフィンテックとは無縁の生活をしなければなりません。それでも生きて行くことはできますが・・・)